

サステナブル意識の広がり

近年ESG投資やSDGsについて、企業での取り組みに関連した報道が多く見られ、サステナブルな環境・社会の実現に向けた動きが活発化しています。化粧品においてもエコ製品の訴求が高まっており、エコ関連製品の開発も増加してきております。

Bar製剤とは

欧州を中心にサステナブル製品として広がっており、固形であるため環境問題に対し様々なメリットがあります。

エネルギー問題



海洋プラスチック



ゴミ問題



省エネルギー



液体品に比べ
輸送効率向上

ボトルフリー



省スペース



Bar製剤についての課題

製剤化：専用製造設備が必要で、生産の敷居が高い
原料が固体となるため、高圧、高剪断設備が必要

性能面：原料選択が限定的なため、制御が難しい
刺激性の高さ、髪の軋みといった課題あり

製品名	化粧品表示名称	公定書	有効分(%)
エマルル 10PT	ラウリル硫酸Na	外原規	97
カオーアキボ RLM-45	ラウレス-6カルボン酸	外原規	92
コータミン E-80K	ステアロキシプロピルトリモニウムクロリド セタノール、ステアリルアルコール	別紙規格	45

花王の固体洗浄製剤化技術

花王ではこれまで固体洗浄剤のリーディングカンパニーとして様々な製品の開発を行ってきました。その知見をBar製剤にも活かし、皆様の製品開発にお役立てできると考えております。



シャンプー

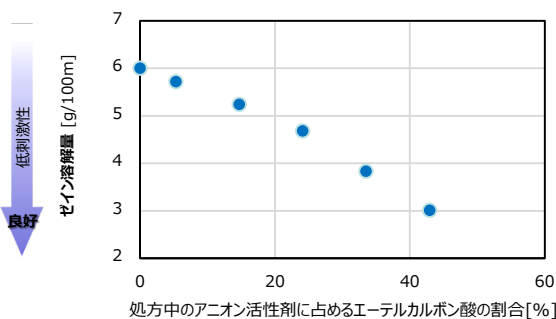
マイルド性と簡易製剤設計

製剤課題

- ・綺麗に成型することが難しい
- ・製剤の硬度が低い
⇒低融点設計 原料は固体且つ融点の低いものを選択

性能課題

- ・ラウリル硫酸Naが主基剤であるため刺激が強い
⇒カオーアキボを併用することでマイルド性を高める



コンディショナー

コータミンE-80Kによる固形コンディショナー作製メリット

粒状固形であり製剤化が容易

- ①溶剤フリー ②ウォーターフリー ③ペレット状で扱い易い

コータミンE-80K C18TAC



コータミンE-80K C18TAC



90°C 1時間
攪拌なし

感触面の特徴

- ・使用時、リッチな感触となり、しっかりとした塗布感が得られる
- ・乾燥後の指通りに優れる
- ・ハリ、コシが付与される